

平成30年度 沖縄県立沖縄水産高等学校専攻科（漁業科・機関科・無線通信科）生徒募集要項

所在地 沖縄県糸満市西崎一丁目1番1号

TEL 098-994-3483・3485

FAX 098-992-5920

1 方針

沖縄県立沖縄水産高等学校専攻科（漁業科・機関科・無線通信科）の入学者の選抜は、高等学校における教育の基礎の上に専門3学科について、学校教育法第58条に基づき高度な知識・技術を修め、海技従事者国家試験等を受けるに足る資質と能力のある者を選抜するために、次の方針に基づいて実施する。

- (1) 選抜は、沖縄県立沖縄水産高等学校長（以下「校長」という。）が、出願資格を有する者の出身高等学校の校長（以下「出身高等学校長」という。）から送付された調査書その他必要な書類、選抜のための学力検査の成績等を資料として行う。
- (2) 選抜は、入学志願者が募集定員を超過すると否とにかかわらず行う。

2 募集定員・修業年限

〔定員〕 専攻科漁業科 10名 専攻科機関科 10名 専攻科通信科 15名
〔修業年限〕 2年以上

3 推薦入学

(1) 出願資格

ア 専攻科漁業科及び専攻科機関科

次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者で、出身高等学校長又は職場の長が推薦する者。

(ア) 高等学校の海洋漁業系もしくは水産工学系の学科を卒業した者又は募集年度の3月までに卒業見込みの者であって、次のaからdまでのすべてに該当する者（以下「第1類志願者」という。）

- a 在学中に船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則（昭和26年国土交通省令第91号）第57条による関係教科について17単位以上修得した者又は修得見込みの者。
- b 総トン数300トン以上の実習船（甲区域で従事するもの）による乗船履歴3ヶ月以上有する者。
- c 船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第四十条別表第三 海技士身体検査基準表の基準に該当する者。（海技士身体検査基準表 別表第三 参照）
- d 評定平均4.3以上の者。

(イ) 高等学校を卒業した者又は募集年度の3月に卒業見込みの者であって、3の(1)のアの(ア)のc及びdに該当する者（以下「第2類志願者」という。）

イ 専攻科無線通信科

高等学校を卒業した者又は募集年度の3月までに高等学校を卒業見込みの者で、評定平均4.3以上の者及び出身高等学校長が推薦する者。

(2) 募集人員

各学科の募集人員は、当該学科の募集定員の次の割合とし、校長が定める。

- ア 専攻科漁業科 30パーセント以内
- イ 専攻科機関科 30パーセント以内
- ウ 専攻科無線通信科 30パーセント以内

(3) 出願期間及び手続き

ア 出願期間

(ア) 出願期間は、平成29年10月12日（木）から、平成29年10月13日（金）までとする。

(イ) 受付時間は、午前9時から午後5時までとする。

(ウ) 郵送する場合は平成29年10月13日（金）までに必着するように送付すること。

イ 提出書類

(ア) 入学志願書（第1号様式）

(イ) 調査書

(ウ) 健康診断書（第2号様式）

※医療機関が発行したもの。ただし、専攻科無線通信科は募集年度の3月までに卒業見込みの者については提出を要しない。

(エ) 入学考査料 (2,200 円)

(※沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例第2条関係別表第1 参照)

(オ) 写真2葉 (出願の前日3月以内に撮影した上半身脱帽縦4.5cm×横3.5cmのものとし、裏面に氏名、生年月日を記入する。)

(カ) 乗船履歴証明書 (漁業科及び機関科の第1類志願者のみ。)

(キ) 推薦書

ウ 受付場所

沖縄県糸満市西崎一丁目1番1号 沖縄県立沖縄水産高等学校

(4) 選抜の方法および日程

ア 出身高等学校長から提出された調査書、身体検査、小論文(漁業科及び機関科のみ)及び面接の結果に基づき、総合的に判定を行う。

イ 期日と日程

平成29年10月25日(水) 午後1時

時 間	漁業科・機関科	無線通信科
13:00～14:30	小論文	面接
14:45～	面接	

※漁業科・機関科は面接時に視力検査及び色覚等の確認も行う。

ウ 場 所

沖縄県立沖縄水産高等学校

(5) 選抜結果の通知及び入学の確約

ア 選抜の結果については、県立沖縄水産高等学校長が平成29年11月7日(火)までに出身高等学校長を通じて本人に通知する。

イ 入学確約書は、出身高等学校長を経由して、平成29年11月14日(火)までに県立沖縄水産高等学校長に提出しなければならない。

(6) 合格発表

平成29年11月14日(火)までに入学確約書の提出があった者について、平成29年12月15日(金)午前9時に本校で発表する。

(7) 入学手続き

推薦入学者としての通知と共に所定の手続きを指示する。

4 一般入学

(1) 出願資格

ア 専攻科漁業科及び専攻科機関科

次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者。

(ア) 高等学校の海洋漁業系もしくは水産工学系の学科を卒業した者又は募集年度の3月までに卒業見込みの者であって、次のaからcまでのすべてに該当する者(以下「第1類志願者」という。)

a 在学中に船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則(昭和26年国土交通省令第91号)第57条による関係教科について17単位以上修得した者又は修得見込みの者。

b 総トン数300トン以上の実習船(甲区域で従事するもの)による乗船履歴3ヶ月以上有する者。

c 船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第四十条別表第三 海技士身体検査基準表の基準に該当する者。(海技士身体検査基準表 別表第三 参照)

(イ) 高等学校を卒業した者又は募集年度の3月に卒業見込みの者であって、3の(1)のアの(ア)のcに該当する者(以下「第2類志願者」という。)

イ 専攻科無線通信科

高等学校を卒業した者又は募集年度の3月までに高等学校を卒業見込みの者。

(2) 出願期間及び手続き

ア 出願期間

- (ア) 出願期間は、平成29年11月16日(木)から平成29年11月17日(金)までとする。
- (イ) 受付時間は、午前9時から午後5時までとする。
- (ウ) 郵送する場合は、平成29年11月17日(金)までに必着するように送付すること。

イ 提出書類

- (ア) 入学志願書(第1号様式)
- (イ) 調査書
- (ウ) 健康診断書(第2号様式)
※医療機関が発行したもの。ただし、専攻科無線通信科は募集年の3月までに卒業見込みの者については提出を要しない。
- (エ) 入学考査料(2,200円)
(※沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例第2条関係別表第1 参照)
- (オ) 写真2葉(出願の日前3月以内に撮影した上半身脱帽縦4.5cm×横3.5cmのものとし、裏面に氏名、生年月日を記入する。)
- (カ) 乗船履歴証明書(漁業科及び機関科の第1類志願者のみ。)

ウ 受付場所

沖縄県糸満市西崎一丁目1番1号 沖縄県立沖縄水産高等学校

(3) 選抜の方法

出身高等学校長から提出された調査書、学力検査、面接及び身体検査の結果を資料とし、総合的に判定を行う。

(4) 学力検査

ア 検査科目

- (ア) 専攻科漁業科の第1類志願者
 - a 専門科目 航海、運用、法規 (四級海技士国家試験(航海)を試験範囲とする。)
 - b 数学 数学Ⅰ(1次・2次関数、2次方程式、2次不等式、三角比、数と式)
 - c 英語 コミュニケーション英語Ⅰ程度の内容
- (イ) 専攻科機関科の第1類志願者
 - a 専門科目 機関Ⅰ、機関Ⅱ、執務一般 (四級海技士国家試験(機関)を試験範囲とする。)
 - b 数学 数学Ⅰ(1次・2次関数、2次方程式、2次不等式、三角比、数と式)
 - c 英語 コミュニケーション英語Ⅰ程度の内容
- (ウ) 専攻科漁業科及び専攻科機関科の第2類志願者
 - a 数学 数学Ⅰ(1次・2次関数、2次方程式、2次不等式、三角比、三角比の応用、数と式)
数学Ⅱ(図形と方程式、複素数、いろいろな関数、微分、積分)
 - b 英語 コミュニケーション英語Ⅰ程度の内容
 - c 理科 物理基礎(主に力学等)、化学基礎(主にモル概念等)、地学基礎(主に気象関連事項等)から1科目選択
 - d 小論文 原稿用紙800字程度
- (エ) 専攻科無線通信科
 - a 専門科目
 - 共通問題(約4割)
合成抵抗、合成容量の求め方、オームの法則、電荷量の計算など
 - 選択問題(約6割) ①又は②の選択
 - ①: 第三級総合無線通信士の「無線工学の基礎」程度
(電磁気、電気回路、電子回路、半導体、論理回路、電磁気測定)及びモールス符号(和文、欧文)
 - ②: 物理基礎、物理で取り扱う電気と磁気の範囲
 - b 数学 数学Ⅰ(1次・2次関数、2次方程式、2次不等式、三角比、三角比の応用、数と式)
数学Ⅱ(図形と方程式、複素数、いろいろな関数、微分、積分)
 - c 英語 コミュニケーション英語Ⅰ

イ 学力検査の期日及び時間割

(ア) 平成29年11月28日(火)及び11月29日(水)の2日間とする。

(イ) 時間割

平成29年11月28日(火)

時 間		専攻科漁業科		専攻科機関科		専攻科無線通信科
		第1類	第2類	第1類	第2類	
1	09:30~ 10:30	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語
2	10:45~ 12:15	航 海	小論文	機関I	小論文	専門科目
	12:15~ 13:05	昼 食				
3	13:05~ 14:05	法 規		執務一般		

平成29年11月29日(水)

時 間		専攻科漁業科		専攻科機関科		専攻科無線通信科
		第1類	第2類	第1類	第2類	
1	09:30~ 10:30	数 学	数 学	数 学	数 学	数 学
2	10:45~ 12:15	運 用	10:45~ 11:45 理 科	機関II	10:45~ 11:45 理 科	面 接
	12:15~ 13:05	昼 食				
3	13:05~ 14:15	面 接		面 接		

ウ 検査の場所

沖縄県立沖縄水産高等学校及び沖縄県立宮古総合実業高等学校

(5) 面接

平成29年11月29日(水)に行う。専攻科漁業科・専攻科機関科については、視力及び色覚等の確認も行う。

(6) 合格発表

平成29年12月15日(金)午前9時本校において発表するとともに、出身高等学校長を通じて本人に通知する。

5 第2次募集

専攻科無線通信科においては、合格者が募集定員に満たない場合、第2次募集を行う。

(1) 出願資格

高等学校を卒業した者又は募集年度の3月に卒業見込みの者。

(2) 出願期間及び手続き

ア 出願期間

(ア) 出願期間は、平成30年2月5日(月)から平成30年2月6日(火)までとする。

(イ) 受付時間は、午前9時から午後5時までとする。

(ウ) 郵送する場合は、平成30年2月6日(火)までに必着するように送付すること。

イ 提出書類

「4 一般入学」の「(2) 出願期間及び手続き」の「イ 提出書類」に準ずる。

(3) 選抜方法

出身高等学校長から提出された調査書、学力検査、面接及び身体検査の結果を資料とし、総合的に判定する。

(4) 学力検査

ア 学力検査の期日及び時間割

平成30年3月2日(金)

時 間	専攻科無線通信科
09:30～10:30	英 語
10:45～12:15	専門科目
12:15～13:05	昼 食
13:05～14:05	数 学
14:20～	面 接

イ 検査の場所

沖縄県立沖縄水産高等学校

ウ 検査科目

専門科目、英語及び数学とする。

※検査科目の詳細については「4 一般入学」の「(4) 学力検査」の「ア 検査科目」を参照。

(5) 面接

面接は平成30年3月2日(金)に行う。

(6) 合格発表

平成30年3月9日(金)午前9時本校において発表するとともに出身高等学校長を通じて本人に通知する。

6 合格者オリエンテーション

平成30年1月25日(木)14時に行う。

※必ず保護者同伴で参加をお願いします。

※2次募集合格者については面接終了後にオリエンテーションの日程をお知らせします。

※船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第四十条 別表第三 海技士身体検査基準表

検 査 項 目	身 体 検 査 基 準
視 力 (5メートルの 距離で万国視力 表による) *矯正視力可	一 海技士(航海)の資格 視力(矯正視力を含む。以下この欄において同じ。)が両眼共に0.5以上であること。 二 海技士(機関)の資格 視力が両眼で0.4以上であること。 三 海技士(通信)又は海技士(電子通信)の資格 視力が両眼共に0.4以上であること。
色 覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと。
聴 力	5メートル以上の距離で話声語を弁別できること。
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害その他の疾病又は身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること。